

20. 野田小学校PTAへの「魅力ある学校づくり構想」の検討状況説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成29年（2017年）2月17日（金）16時30分～

○場 所：野田小学校

質問・意見等	豊中市からの回答
<p><b>子どもの成長が昔より早まっているというのは分かるが、先生が子どもたちの成長に合わせた指導をすれば、「中一ギャップ」は生じないのではないか。</b></p>	<p>いわゆる「中一ギャップ」については諸説ありますが、近年、子どもたちの成長が早まり、興味・関心の多様化等が顕著になっていると言われており、学校現場では、教員がさまざまな工夫を凝らして教育活動を行っているところです。小学校では学級担任制により一人の教員がきめ細かな指導を行いますが、中学校になると教科担任制になり複数の教員が子どもたちをみることとなります。小中一貫校で小学校と中学校の教育をしっかりとつなげることにより教育効果が高まると考えています。学年や個々の状況等により必要な教育活動も異なりますので、さまざまな対応ができるように、普段から小学校と中学校の教員と一緒に子どもたちを見守っていける体制や、子どもたちがさまざまな教員と関わっていける環境を整えていきたいと考えています。</p>
<p><b>一点目、公立の学校は人事異動があるが、小中一貫校において、9年間子どもたちを連続して見守っていくということを配慮できるのか。今と同じサイクルで教員が異動すると、しっかりと子どもたちを見ることができないのではないか。</b>  <b>二点目、運動場の広さを確保しないといけないが、現在の想定で教育活動に支障はないのか。</b>  <b>三点目、庄内駅前銀行跡地はどのように活用されるのか。</b></p>	<p>一点目、学校運営については、継続的に安定した運営ができるような仕組みづくりが必要であると考えています。教職員の異動という事情はありますが、一度に教職員が入れ替わるわけではありませんので、何人か異動になったとしても、組織体制を強固にしておけば、安定的な学校運営ができると考えています。教職員の資質を高めるという意味でも、色々な環境に身を置くことが経験につながりますので、1校にずっと留まるということはないですが、通常より長く在籍することも考えられます。</p> <p>二点目、敷地面積が限られている中で、施設配置等を工夫していかなければいけないと考えています。また、文部科学省の指針にも示されていますが、低学年の遊び場を設けるなど、子どもたちが安全に過ごせるような環境を整えていく必要があると思います。中学校の部活動は、放課後や休日もありますので、学校の敷地だけに限らず、学校跡地の利活用等も考えられます。</p> <p>三点目、（仮称）庄内駅前庁舎の現在の取り組み状況として、当初は2,3階に出張所を整備するという提案でしたが、平成28年（2016年）2月の説明会等にいただいた意見を踏まえて、再検討し、1階は駐輪場、2階は就職に関する相談業務などの就労支援、3階は駅前の好立地を生かして、一時保育と子育て相談を行う機能を整えたいと考えています。南部地域に</p>

	<p>おける喫緊の課題の解消にむけた事業を展開したいと考えています。</p>
<p>平成 28 年(2017 年)2 月の説明会では、第 2 案が示されていたが、今回、消された理由は何か。第 2 案であれば、広い運動場が確保できるのではないか。屋上プールについては、安全面等に不安がある。第 2 案をもう一度検討してほしい。</p> <p>学校に緑が少ないのも問題だと思う。木の温かさや木の触れ合いも大切だと思う。示された図はあまりにも緑がないと感じる。</p>	<p>小中一貫教育のさらなる推進という観点から施設一体型小中一貫校を整備したいと考えています。子どもたちの教育活動を充実させるために、また、限られた敷地の中で、最大限、有効活用していくために、先進事例を参考にして、検討していきたいと考えています。新しい校舎の基本設計については、ワークショップなどを開催し、保護者、地域の方々、現場の教職員の意見を聞きながら、あるいは学識経験者などの知識をお借りしながら、検討していく予定です。今、示しているシミュレーションは、あくまでボリュームチェックであり、このように建てるものと決まったわけではありません。校舎の木質化、緑化についても同様で、これから検討してまいります。</p>
<p>放課後こどもクラブについて、今、午後 7 時まで延長保育を利用しているが、通学距離が延びることによって、保護者が迎えにいく距離も延びる。延長保育の時間を午後 7 時から延長するなど、何かしらの対応をお願いしたい。</p>	<p>ご意見として持ち帰り、担当部局へ伝えます。</p>